

### III 一～五類全數把握感染症



## 一～五類全数把握感染症

### 1. 一類感染症

全国、大阪府とも発生はなかった。

### 2. 二類感染症

結核以外の二類感染症は、全国、大阪府とも発生はなかった。

なお、結核については、下記ホームページを参照されたい。

(財) 結核予防会結核研究所 疫学情報センター <http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/>

(文責：谷本)

### 3. 三類感染症

#### ●コレラ

平成 27 年のコレラの発生はなく、平成 26 年も同様であった。

#### ●細菌性赤痢

平成 27 年の細菌性赤痢の届出数は 2 例であり、平成 26 年の 9 例に比べ減少した。

菌種別では 2 例とも *S.sonnei* (D 群) であった。推定感染地域は、いずれも国外（イスラエル、モルディブもしくはアラブ首長国連邦）であった。

#### ●腸チフス

平成 27 年の腸チフスの届出数は 3 例であり、平成 26 年の 4 例より、1 例減少した。

推定感染地域はインド（2 例）、パキスタン（1 例）であった。

#### ●パラチフス

平成 27 年のパラチフスの発生はなく、平成 26 年の 1 例より減少している。

## コレラ

週	1月					2月					3月					4月					5月					6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週			
府・市																														
大阪府																														
大阪市																														
堺市																														
高槻市																														
東大阪市																														
豊中市																														
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

## 細菌性赤痢

週	1月					2月					3月					4月					5月					6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週			
府・市																														
大阪府																														
大阪市		1																												
堺市																														
高槻市																														
東大阪市																														
豊中市																														
合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

## 腸チフス

週	1月					2月					3月					4月					5月					6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週			
府・市																														
大阪府																														
大阪市																		1									1			
堺市																														
高槻市																														
東大阪市																														
豊中市																														
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		

## パラチフス

週	1月					2月					3月					4月					5月					6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週			
府・市																														
大阪府																														
大阪市																														
堺市																														
高槻市																														
東大阪市																														
豊中市																														
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

## 腸管出血性大腸菌感染症

週	1月					2月					3月					4月					5月					6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週			
府・市																														
大阪府		1				1	1	1								2		1	1		1	5	2	3	8	100	59			
大阪市																1		1		1	1	1	1			1				
堺市		1	1	1	2	5	12	11	2	3	1											1	1	1						
高槻市									1																		1			
東大阪市																											4			
豊中市																														
合計	0	2	1	0	1	3	6	13	11	3	3	0	3	1	0	1	1	1	0	0	2	6	3	5	9	105	60			

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週		
12	5	3	8	1	5	4	7	1	1	3	3	2	1	5	1				3					251			
2	1	2	1	8	3	2	2	1	1	1	2	1	1	1	3	2			1	1	2	44					
1	1	1			1	2	1	2	1	1	1	1	1	1					1		56						
	1		2		1	1			1	1											9						
1	1																			2		8			4		
		1											1	1				1									
15	8	5	4	17	6	2	9	8	9	4	3	6	7	2	3	7	4	2	1	0	0	4	0	4	2	372	

## ●腸管出血性大腸菌感染症

平成27年の腸管出血性大腸菌感染症の届出数は372例であり、平成26年の届出数202例に比べて170例増加している。

血清型別ではO157が174例(46.8%)、O26が177例(47.6%)、O111が4例(1.1%)、O121が1例(0.3%)、その他が5例(1.3%)、不明が11例(3.0%)であった。そのうちHUS発症例は5例(1.3%)であった。

また、症状別では有症状者が227例(61.0%)、無症状病原体保有者(以下、無症状者)が145例(39.0%)であった。

血清型別有症・無症状者数はO157では有症状者が118例(31.7%)、無症状者が56例(15.1%)、O26では有症状者が98例(26.3%)、無症状者が79例(21.2%)、O121は有症状者が1例(0.3%)、O111は有症状者が4例(1.1%)、血清型不明では、有症状者が4例(1.1%)、無症状者が7例(1.9%)であった。その他の有症状者が2例(0.5%)、無症状者が3例(0.8%)であった。

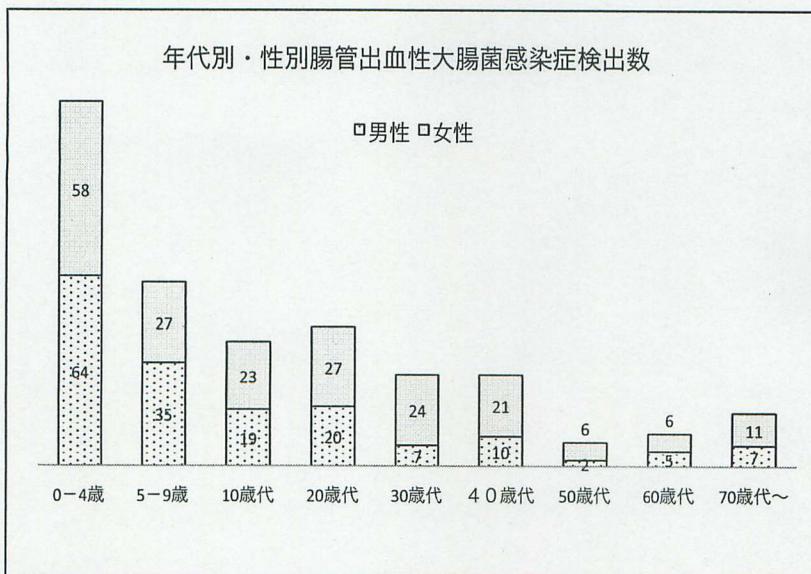
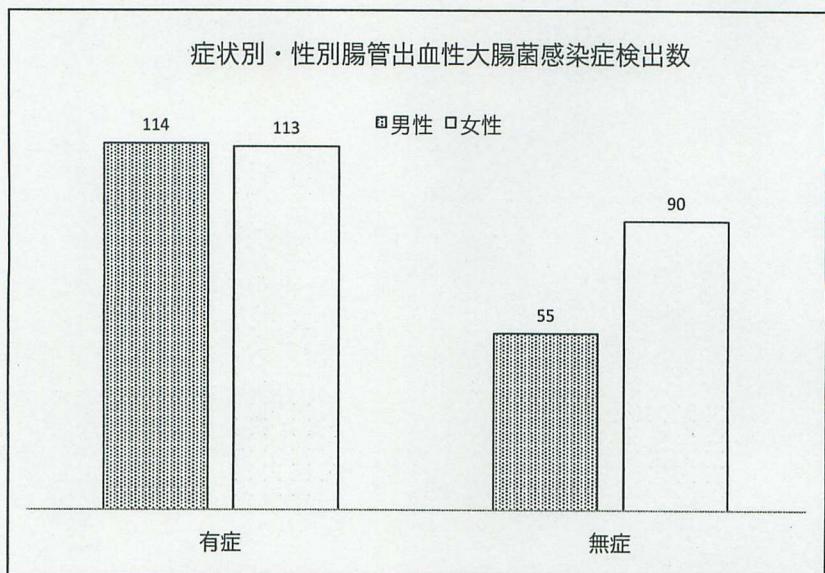
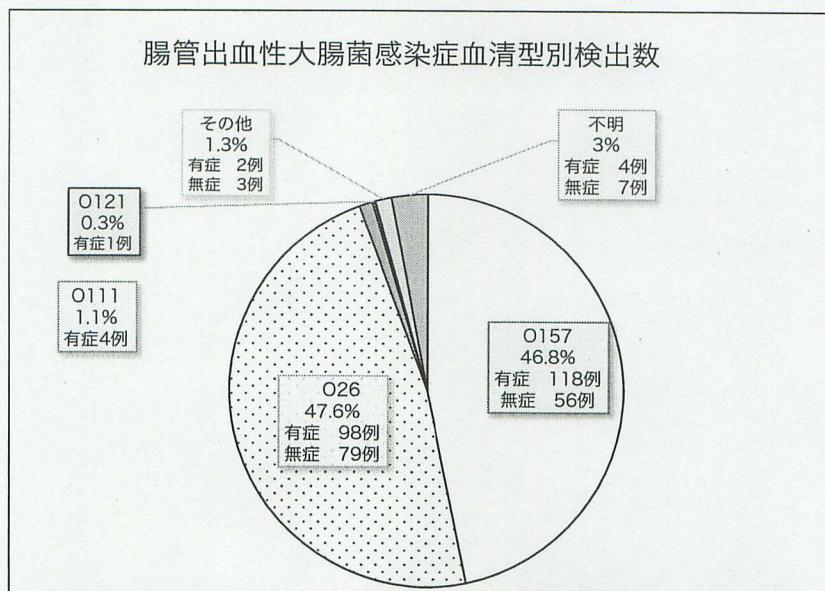
性別では、男性169例(45.4%)、女性203例(54.6%)であった。

症状別・性別菌検出者数は有症状者(227例)では男性114例(50.2%)、女性113例(49.8%)、無症状者(145例)では男性55例(37.9%)、女性90例(62.1%)であった。

月別患者・保菌者届出数をみると、届出がない月はなく、多い順に、6月の182例、8月の42例、次いで2月の33例、7月の32例であった。平成27年においては、2月に堺市における集団発生事例(O157)32例、6月に寝屋川市における集団発生事例(O26)157例が含まれている。

都道府県別でみると、届出数の多い順に大阪府、東京都、神奈川県となっている。

(大阪市)



#### 4. 四類および五類感染症（全数把握分）

平成27年における四類および五類全数把握感染症の大坂府内届出数は27疾患1,352例、284例（26.6%）の増加であった。

##### 四類感染症（表1）

四類感染症の届出数は9疾患132例、前年比2%減であった。2015年に届出があつた四類感染症について増減など動向を解析した（表1）。前年に比し増加した感染症として、レジオネラ症は83例の届出（前年：66例）があり、前年比25.8%、E型肝炎が2例（前年：0例）、チクングニア熱が2例（前年：1例）で100%、エキノコックス症が1例（前年：0例）の増加であった。前年に比し減少した感染症として、A型肝炎：37.1%、デング熱：9.5%、日本紅斑熱：80.0%、マラリア：66.7%、レプトスピラ症：50%、それぞれ減少していた。

表1. 大阪府内における四類感染症の発生動向

	疾患名	年間届出数		対2014年比 増減（%）
		H27-2015	H26-2014	
1	レジオネラ症	83	66	25.8
2	A型肝炎	22	35	-37.1
3	デング熱	19	21	-9.5
4	E型肝炎	2	0	
	チクングニア熱	2	1	100.0
6	エキノコックス症	1	0	
	日本紅斑熱	1	5	-80.0
	マラリア	1	3	-66.7
	レプトスピラ症	1	2	-50.0

2016年2月1日、世界保健機関（World Health Organization: WHO）は国際保健規則（International Health Regulations: IHRs）に基づき、ジカウイルス感染症に関し、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（Public Health Emergency of International Concern: PHEIC）を宣言した。この宣言に呼応し、2016年02月15日、厚生労働省はジカウイルス感染症（病型：ジカウイルス病、先天性ジカウイルス感染症）を4類感染症に追加した。ジカウイルス感染症は蚊媒介性（ネッタイシマカや日本に常在するヒトスジシマカ）であるが、輸血や性行為を介した症例も報告されている。

##### 五類全数把握感染症（表2）

五類全数把握感染症の届出数は18疾患1,220例であった。前年に比し、疾患数は発生のなかつた2疾患（五類全数把握感染症：クリプトスピリジウム症、先天性風しん症候群）の減少であったが、届出数は287例（30.8%）の増加であった。2015年間届出数が5例以上の感染症について増減など動向を解析した（表2）。顕著に増加（25%以上）した疾患として、届出数が多い順に、梅毒、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症\*、侵襲性肺炎球菌感染症、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、急性脳炎（ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く）、水痘（入院例）\*、侵襲性インフルエンザ菌感染症、ジアルジア症、播種性クリプトコックス症\*が掲げられる（\*: 平成26年9月より追加された疾患）。減少した感染症として、ウイルス性肝炎、麻しん（後述）、風しん（後述）

であった。

表 2. 大阪府内における五類全数把握感染症の発生動向  
(2015年間届出数が5例以上の感染症)

	疾患名	届出数		対2014年比 増減(%)
		H27-2015	H26-2014	
1	梅毒	324	242	33.9
2	後天性免疫不全症候群	220	207	6.3
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*	187	38	392.1
4	侵襲性肺炎球菌感染症	180	126	42.9
5	アメーバ赤痢	118	127	-7.1
6	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	35	16	118.8
7	急性脳炎（ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く）	34	27	25.9
8	水痘（入院例）*	28	5	460.0
9	侵襲性インフルエンザ菌感染症	27	17	58.8
10	ウイルス性肝炎	20	29	-31.0
11	ジアルジア症	12	9	33.3
12	風しん	10	18	-44.4
13	クロイツフェルド・ヤコブ病	8	10	-20.0
14	播種性クリプトコックス症*	7	2	250.0

\*平成26年9月より追加された疾患

### 麻しん（表3）

平成27年の届出数は2例であった。前年の46例に比べ95.7%減少した（表3）。第29週、第35週に報告があり、2例共に海外渡航歴のある30歳台男性で、予防接種歴は1回あった。麻しんウイルス遺伝子型は海外で流行しているD8型（第29週）やB3型（第35週）が検出され、従来の国内土着株であるD5型と異なっていた。疫学調査やウイルス学検索結果から、輸入症例と考えられる。麻しん排除に患者やウイルス検索を含めた発生動向調査や予防接種が大きく寄与し、平成27年3月27日、世界保健機関西太平洋事務局は日本を麻しん排除国と認定した。今後も、麻しんウイルス遺伝子検査による病原体診断や発生動向調査などにより、麻しん排除の状態を維持していくことが重要である。

表3. 大阪府内における麻しん（五類全数把握感染症）の発生動向

疾患名	届出数		対2014年比 増減(%)
	H27-2015	H26-2014	
麻しん (遺伝子型:D8、B3)	2	46	-95.7

## 風しん（表4）

平成27年の届出数は10例であった。前年の18例に比し、44.4%減少した。風しんに関する特定感染症予防指針（厚生労働省健康局結核感染症課）が策定され、平成26年4月1日から適用されている。風しん排除に向け、麻しんと同様、発生動向調査や予防接種の推進が重要である。

表4. 大阪府内における風しん（五類全数把握感染症）の発生動向

疾患名	届出数		対2014年比 増減(%)
	H27・2015	H26・2014	
風しん	10	18	-44.4

(文責：沼田、小林)